

令和8年度

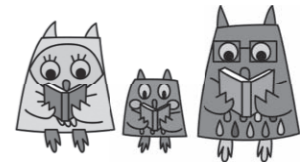
こどもたちに 読んでほしい200冊 新選図書目録(44冊)



公益財団法人 北海道こども・若者応援協会

(旧:北海道青少年育成協会)

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第二道通ビル6階
TEL.(011)231-6451 FAX.(011)231-6457
ホームページ: <https://www.ikuseikyo.jp/>
Eメール: youth@ikuseikyo.jp



選定=公益財団法人北海道こども・若者応援協会
選定協力=北海道学校図書館協会・北海道読書推進運動協議会

幼児の部

くうちゃんのかげっこ まえばわ かえで(作・絵) 1,100円 [白順社]	3つの いしころ オリヴィエ・タレック(作) 1,760円 [BL出版]
<p>学校の帰り道、お友達と一緒に走りたいのに走れなくて、くうちゃんは泣いてしまいます。新しい走り用の義足、新しい仲間との出会い、ぐんと世界を広げるくうちゃんの姿に、挑戦する勇気をもらえる絵本。義足のくうちゃんの絵本シリーズの第3弾。</p>	<p>高い山のでっぺんでのんびりと暮らす石ころたちは、ある日、雷が落ち転がり落ちてしまいます。石ころたちは、行く先々でも様々なことが起こって安住できず、ついには…。どこに転がっても幸せを見つける前向きさに希望を感じる絵本。</p>
さかなを たべた あとの ほね 加藤 休ミ(作) 1,100円 [福音館書店]	わたしが すきなもの たけうち ちひろ(作) 1,870円 [アリス館]
<p>魚を焼いたり煮たりしておいしく食べた後に残るのは、いろんな魚のいろんな骨。ダイナミックかつ美味しそうに描かれた骨の存在感が見事です。骨を外すのは面倒ですが、むしろ魚料理を食べ、実際に骨を見たくなる、ごはんの時間がより楽しくなる絵本。</p>	<p>「きみが好きなものはなあに?」という問いに、子どもたちはそれぞれ自分の好きなものを教えてください。自分が好きなものを考えたり、他の人の好きなものを知ったりしながら、みんなそれぞれ違って、それがまたいいんだと感じられる絵本。</p>

小学校1年生の部

ねこぎちの てぬぐい かとう まふみ(作) 1,650円 [講談社]	なにかいいことあった? ミーシャ・アーチャー(作) 1,870円 [BL出版]
<p>ねこぎちの手拭いになった「まめしほり」は、よだれを拭いたり体を洗ったりと使われていたが、やがておしめになり、雑巾になり、燃やされ…。ところが灰になってからも役に立ち続け、見事な循環サイクルができました。物を無駄にしない心が学べる絵本。</p>	<p>ダニエルは、おじいちゃんに「なにかいいことあったかい?」と尋ねられたけれど答えられず、「いいこと」を探しに公園を巡ります。いろいろなものと対話しながら、できるようになったことなど自分の成長に気付いていきます。毎日が嬉しくなる絵本。</p>
きをそだてる きこりのきこさん 室井 さと子(作) 1,650円 [新日本出版社]	じかんは ともだち てづか あけみ(作・絵) 1,980円 [偕成社]
<p>きこりの「きこ」さんは木を育てています。山仕事仲間と助け合って苗木を植え、草を刈り、枝を切り、光と風の通りを良くします。そして、選んだ木を切り倒し、木材として出す一年が丁寧に描かれています。山の仕事のあれこれを楽しんでくれる絵本。</p>	<p>いったい時間って何?川のように流れてもいるし、1秒、1分、1時間、1日…といろいろな名前も付いている。地球上には同時に様々な時間があるし、生き物によっても違う。時間について様々な視点から考える絵本。</p>

小学校2年生の部

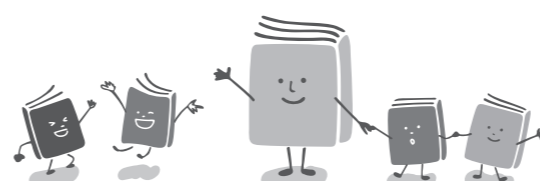
はじまりは わざとじゃない! かさい まり(作) 北村 みなみ(絵) 1,540円 [くもん出版]	あおのいえ いとう みく(作) 丸山 ゆき(絵) 1,540円 [童心社]
<p>るいから見ると、わざとちよっかいを出してくるつばさは、面倒くさいやつでイライラ。つばさからすると、周りの言うことは間違っていない自分だって分かっているけれど、友だちが欲しい気持ちは置き去りになりモヤモヤイライラ。そんな二人に、近所のスーパーでちょっとした事件が起こり…。同じ出来事でも、人や立場によって感じ方が違うことに気付ける物語。</p>	<p>しずさんとのおくんの3人で暮らしているあおくんの毎日は幸せで満ち溢れていますが、ある日、友だちの「あおくんちって何か複雑だね」の一言で心がざわつきまします。「ほくのうちは、ほくんちだ」と自信をもって言えるようになったあおくんの姿から、多様な性のあり方や様々な家族の在り方について考えるきっかけとなる物語。</p>
ある星の汽車 森 洋子(作) 1,980円 [福音館書店]	あの、ここ どうぞ くすのき しげのり(作) こがめ たく(絵) 1,540円 [偕成社]
<p>汽車に乗った一人の男の子は、乗客たちと楽しく話します。しかし、駅に着く度にドードーの紳士、オオウミガラスの夫婦と、かつて地球に存在した絶滅種である乗客が一緒に降り、車内は徐々に寂しくなっていくのです。精緻で美しい鉛筆画で描かれ、人間も同じ地球に生きる一員であることを考えさせられる絵本。</p>	<p>電車で席を譲りたいとおもったけれど、ちょっと離れていたり、断られたりして、なかなかうまく譲ることができない。パッと見て気付かなかったマニティマークやヘルプマークを付けている人の姿を見て…。他の乗客の席を譲る姿や様々な事情を抱えている人々への気付きの心と葛藤を丁寧に描いた絵本。</p>

小学校3年生の部

ひろしま絵日記 中澤 晶子(作) ささめや ゆき(絵) 1,430円 [小峰書店]	ほるんだ、恐竜化石! モンゴル恐竜発掘記 平田 貴章(写真・文) 1,760円 [小学館]
<p>夏休みにひいおばあちゃんの家に泊まりに行った2年生のみなみちゃん。見つけた日記帳から戦争当時の暮らしや原爆のことを知り、自分も日記を書き始めようと思うのだった。戦争と自分の生活をつなげて考えることができる一冊。</p>	<p>モンゴルの大草原を抜け、ゴビ砂漠のど真ん中でスタートする恐竜発掘大作戦! 調査隊の生活や必要なアイテム、恐竜の化石などについて写真と呼びかけ言葉で紹介する科学絵本。北海道、福井県、モンゴルなどで発掘調査を進めている小林快次氏監修。</p>
りょうこう 麻生 知子(作) 1,650円 [福音館書店]	この手はいつか 中山 聖子(作) 保光 敏将(絵) 1,650円 [文研出版]
<p>こうたくんとおじいちゃんのだこか懐かしい二人旅の様子を上から横からユニークな構図で細部まで丁寧に描いた絵本。電車の中、旅館の部屋、食事や大浴場の様子から、自分も一緒に旅をしているようなわくわくした気分がさせてくれる。</p>	<p>ある事件をきっかけに、夏休み中に母の実家へ一人で行くことになった真潮(ましお)。萩焼きという焼き物を焼いている職人のおじいちゃん、現地で知り合った友達、同じアパートの近所のおじいちゃん、様々な人達との関わりで前向きな心を取り戻してゆく。</p>

小学校5年生の部

春の雨にぬれて、獅子はおどる 岳 明秀(作) いたう あつき(絵) 1,650円 [講談社]	エイト! 嘉成 晴香(作) 早川 世詩男(絵) 1,540円 [あかね書房]
<p>東京から岐阜の山あいの町へ引っ越した5年生のナオコ。伝統芸能の獅子舞に参加しない?と声をかけられ、戸惑いながらも見学することに。女の子は笛、男の子は獅子に取り組むことが習わしたが、ナオコが惹かれたのは獅子のほうだった。</p>	<p>不登校だった小学5年生の永都は、突然母から「エジプトへ行く」と誘われる。異文化に驚きつつも、人々とふれあい、自分を見つめ始める。しかし、コロナのパンデミックでアジア人差別が…。まるで冒険のような状況で成長していく少年の物語。</p>



小学校4年生の部

みんなをつなぐ アイヌの糸 横塚 眞己人(写真・文) 2,035円 [ほるぷ出版]	知ったかぶりをした日から かさい まり(作) おとない ちあき(絵) 1,430円 [岩崎書店]
<p>アイヌの伝統的な布「アットウシ」を家族と一緒に長年作っている二風谷の貝澤さん。写真家の横塚さんの取材の中で見えてきたのは、アイヌの歴史や文化、周りの人との絆だった。詳しい説明と写真が伝える一冊。</p>	<p>東京から北海道に転校してきた四年生の風子は、有名人に会ったことがあるとクラスメートに軽い気持ちで嘘を言ってしまう。その嘘がばれそうになり…。知ったかぶりをしたことを反省して成長していく物語。</p>
探知犬ものがたり 有島 希音(文) 速渡 普士(文) 1,760円 [文研出版]	日下部くんには日傘が似合う 神戸 真実(作) ほん豆(絵) 1,430円 [あかね書房]
<p>優れた嗅覚を生かし、警察の捜査や災害救助、税関の検査などさまざまな現場で活躍する探知犬。北海道を中心に、探知犬をめざす子犬、現役の探知犬、引退警察犬を取材し、一生を知ることで探知犬を身近に感じることができる本。</p>	<p>日下部くんは、フリフリのかわいい日傘をさしている6年生の男の子。でも誰もからかうことなく、「日下部くんだから」と見守る空気がある。そんな日下部くんが日傘を通して、みんなが少しずつ「本当の自分の気持ち」に気が付いてゆく。</p>



小学校6年生の部

ぼくのシェフ 長谷川 まりる(作) 西村 ツチカ(絵) 1,650円 [くもん出版]	ポジション 高田 由紀子(作) 丹地 陽子(絵) 1,650円 [岩崎書店]
<p>名シェフの息子でお金持ちのシャールが貧しい街でアズレと出会う。彼は料理を一口食べただけで味を再現できるような圧倒的な料理の才能をもっていた。立場がまったく違う二人が料理を通して友情を深め、貧困や現実に向き合いながら成長していく物語。</p>	<p>スポーツは苦手なのに、人数合わせのためミニバスチームに誘われ入団することになった芽吹。入団したものの自信がもてずいたが、車いすバスケットに取り組み近所の高校生ケイの姿に勇気をもらう。チームメンバーそれぞれの視点で描く成長物語。</p>
爆弾に傘をさしたおばあちゃん かとう あい(作・画) 1,760円 [文芸社]	
<p>一昨年、108歳で亡くなった曾祖母の遺品の中から、焼夷弾のおもりが見つかった。戦争中、そのおもりを使って傘の修理をしながら暮らしていたというエピソードから生まれた絵本。戦前戦後を生きたおばあちゃんの一言一言が心に残る1冊。</p>	

令和8年度

こどもたちに読んでほしい200冊 新選図書目録(44冊)

中学生の部Ⅰ

<p>命の宿題「殺処分ゼロ」を語った日から... [新日本出版社] 今西 乃子(著) 浜田 一男(写真) 1,650円</p>  <p>「殺処分ゼロ」がゴールでいいのだろうか。著者の今西乃子さんが小中学生に講演してきた命の授業、さらに動物愛護管理センターを取材して伝える「命を預かる責任」と「動物にとって本当の幸せ」とは何かを問う。これは読者に課された「命の宿題」です。</p>	<p>君の火がゆらめいている [講談社] 落合 由佳(著) 1,650円</p>  <p>障がいをもつきょうだいのサポートをする「きょうだい児」。当事者への支援に比べて「きょうだい児」の問題は見逃されがちだ。主人公葉澄も障がいの双子の姉を愛しつつシビリアな現実で葛藤している。逃げることもできないギリギリの心の揺れ動きを描いた作品。</p>
<p>聞こえない羽音 [小学館] 舟崎 泉美(著) 1,430円</p>  <p>中学2年生の花音は感性性難聴になった。聞こえていた耳が聞こえなくなる苦しみ、他の子とは違うと感じる孤独、未来への不安などから殻に閉じこもってしまう。そんな花音がデフバドミントンと出会い、親友と再び向き合うまでを描いた勇気をもらえ作品。</p>	<p>わたしのbe 書きたび、生まれる [KADOKAWA] 佐藤 いつ子(著) 1,760円</p>  <p>自分の容姿に自信がない女子高生が書道を通して「美しい文字を書く」「美しい」とは何かを考える。自分の好きなことに打ち込む人の姿を通して、人は見た目だけではないことを知り、仲間たちと共に書に向き合うことで自分の求めていた「美」に気づく物語。</p>

中学生の部Ⅲ

<p>Garden 8月9日の父をさがして [童心社] 森越 智子(作) 大野 八生(絵) 1,980円</p>  <p>1945年8月9日、長崎県に落とされた原子爆弾。当時12歳だった父は疎開先で被爆も命も免れたと聞いていた。しかし父の遺品から出てきたのは被爆者手帳。あの日の父の足跡をたどり長崎県へ行く。語り継がなければならない戦争と命の重さの物語。</p>	<p>チャリを盗んで、夜明け [講談社] 黒川 裕子(著) 1,760円</p>  <p>貧困はこんなにも生活を蝕むのか。人生に絶望した少年と、子どもの未来を諦めない大人が出会った時、心が震え、音楽が響き出す！心の支え、支援してくれる行政や大人たちがいれば、人生はやり直しがきくんだ。夜明けを信じて進む、希望と再生を描いた作品。</p>
<p>もしも君の町がガザだったら [ポプラ社] 高橋 真樹(著) 1,980円</p>  <p>ガザを継続的に取材するジャーナリストの著者が、今、ガザで何が起きているのかを歴史的背景を交えながらパレスチナ問題を平易な言葉で解説。「もしも君の町が」と、自分に何ができるのかを自分事として考えてほしいパレスチナ入門書。</p>	<p>ユリの便箋 [静山社] 森川 成美(作) 1,540円</p>  <p>佐賀に住む瓜二つの双子の唄は男の子、ユリは女の子。唄はファッション、ユリは図案の勉強がしたい！性差を乗り越えるべく二人は上京し、志望する学校へ。現代より更に男女の違いに厳しい時代・大正期にとりかえはや作戦に挑戦する少年少女の学園青春物語。</p>

高校生・青年の部

<p>私たちは何を捨てているのか - 食品ロス、コロナ、気候変動 [筑摩書房] 井出 留美(著) 1,012円</p>  <p>世界中から発生する食品ロスによる温室効果ガスは、気候変動の大きな原因となっている。その排出量において我が国は中国、アメリカについて世界第3位である。およそ食料の3~4割を食べることなく捨てている日本の食料システムの問題点を多面から考える。</p>	<p>「ベルサイユのばら」の真実 [新潮社] 池田 理代子(著) 芸術新潮編集部(編) 2,420円</p>  <p>男装の麗人オスカルとフランス王妃マリー・アントワネットの波乱の生涯を、史実と虚構を織り交ぜて描く絢爛たる物語『ベルサイユのばら』。半世紀を経て色あせることのない名作の魅力、美術史家や演劇ライター、フランス文学者たちが専門的視点から読み解く。</p>
<p>救われてんじゃねえよ [新潮社] 上村 裕香(著) 1,540円</p>  <p>沙智は難病の母の介護をする17歳の高校生。母は娘に過剰に依存し父はなにもしない。両親は俗に言う親ガチャの外れ。八畳一間の生活はいつ壊れてもおかしくない。そんなギリギリの日々を生きている親子の原始的生命力！人は絶望だけを背負って生きてはいない。</p>	<p>大学4年間を「応援」に捧げた私が古生物学者になった話 [理論社] 泉 賢太郎(著) 1,540円</p>  <p>幼い頃なんとなく好きだった化石。それを研究する仕事・古生物学者になると思い定めてからの道のりは、まず勉強と部活動！東京大学応援団での4年間は！やら？が満載の日々。普通の自分が好きなことを仕事するために、戦略的に頑張った諦めない男の研究道。</p>
<p>札幌誕生 [河出書房新社] 門井 慶喜(著) 2,475円</p>  <p>現在ある本州の大都会は何もない地を一から開拓して創られた街ではない。古の都や城下町を基に出来たものである。アイヌの人たちが住んでいたが手つかずの広大な原野、そこに基盤の目状の街・札幌を創る大業に尽力した5人のドラマを軸に描く壮大な物語。</p>	<p>お前レベルの話はしていない [河出書房新社] 芦沢 央(著) 1,815円</p>  <p>プロ棋士の夢を追い切琢磨磨してきた二人の少年。一人は夢を叶えプロに、一人は夢を諦め弁護士になったが共に遠い日々の心の闇を棄てきれずにいた。夢を諦める選択と諦めない選択の先にあったものは…。最後の「将棋指そうぜ」がすべてを語る青春小説。</p>
<p>僕たちは我慢している [COMPASS] 藤岡 陽子(著) 1,980円</p>  <p>偏差値70を超える超難関中高一貫男子進学校に通う高校生たちの大学受験物語。傍から見れば恵まれた環境であっても、個々の悩みや困難はふつうにある。それぞれの問題に向き合い、ある時は逃げながらも、勉強=生きる力を手にするために全力で取り組む青春。</p>	<p>日本一の氷の道ができるまで [北海道新聞社] NHKスペシャル「氷 その神秘の世界〜映像詩 天塩川〜」取材班(編) 1,760円</p>  <p>全長256キロ。日本で4番目に長い天塩川は冬には100キロを超える氷の道となる。極寒の川で生まれた1ミリにも満たない小さな氷が姿を変えながら成長し巨大な氷の道となる。凍てつく川が育む氷の一生。その過程をとらえたテレビ・NHKスペシャルの書籍化。</p>
<p>経済学者のアタマの中 [筑摩書房] 大竹 文雄(著) 1,034円</p>  <p>女性は社会の役に立つ仕事をしたいと考えている人が多い。そのため進学先に経済学部を選ばないとの調査結果にショックを受けた経済学者たち。正しく理解した上で選べないのは構わないとのスタンスで、経済学=お金儲けのための学問との誤解を鮮やかに覆す。</p>	<p>ヨコスカストーリー [理論社] 花形 みつる(著) 1,650円</p>  <p>戦後20年近く経った基地の街・横須賀。米兵と日本人女性の間に生まれた「あいのこ」と呼ばれるハーフの子どもたちは、意図的な差別と善意を纏った無意識の差別の中で生きている。怒りや悲しみや諦めの中でも互いを尊重し、静かに逞しく絆を育む清々しい物語。</p>

※掲載されている書籍の価格は税込価格です

「こどもたちに読んでほしい200冊」選定の柱

- 1 何ものにもくじけない、強じんな開拓精神を育てるために。
- 2 人間の幸せに貢献する科学に尽くそうとする心を育てるために。
- 3 平和を愛し、幸福な社会をつくらうとする心を育てるために。
- 4 人間の尊さを守らうとする心を育てるために。
- 5 想像力を広げ、豊かな情操を育てるために。


【44冊はどうやって選ばれたの?】

北海道学校図書館協会選定部の先生方が、毎月2回実施している選定会の中で読んだ多数の作品から厳選しています。

【活用例】

- ①学校では、朝読書や夏・冬休みのおすすめ本として児童生徒に目録を配布、読書感想文の選定図書としているほか、図書購入時の参考資料にも活用
- ②公立図書館では、「200冊コーナー」を設け図書を紹介
- ③北海道日本ハムファイターズと連携して、読書推進キャンペーンの参考図書として活用

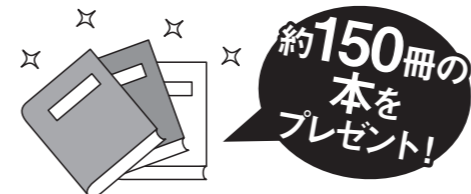
小学生 本を読んでファイターズを応援しよう!



北海道日本ハムファイターズでは、2014年から行っている読書促進全道キャンペーン「クラブを本に持ちかえて」の一環で、株式会社パイロットコーポレーションご協賛のもと、「本を読んでファイターズを応援しよう！」キャンペーンを実施します。小学生を対象に夏休み期間前後で、目標冊数(1・2年生=10冊、3・4年生=8冊、5・6年生=6冊)を読み終えた児童にPILOT製文具がプレゼントされるほか、希望者には、エスコンフィールド HOKKAIDOでの公式戦に260組520名が招待されます。本を選ぶ際には、「こどもたちに読んでほしい200冊」を参考にしてください。〔申込期限=7月31日まで 詳しくは球団サイトをご覧ください。〕

どさんこ読書応援キャンペーン!

北海道子ども・若者応援協会では、本を読む習慣のある子はもちろん、本に親しみのないこどもたちにも、本を身近に感じてもらい、本を読み、豊かな時間を過ごしてほしい思いから、こどもたちに本をプレゼントする「どさんこ読書応援キャンペーン!」を実施します。



【応募対象】 道内の高校生以下のこどもたち

【応募方法】

- ①200冊目録のプレゼント対象本(📖マーク)などにより、希望する本を選びます。
- ②「どさんこ読書応援キャンペーン!」サイトから、申込みをします。(右下のQRコードよりアクセス)
- ③申込み後、抽選により当選者が決定! プレゼント本を発送します。

※詳細は、「どさんこ読書応援キャンペーン!」サイトをご覧ください。

